



基地があるから攻撃される

金正恩とトランプの応酬にはひやりとしますね。

一九五〇年六月北朝鮮が三八度線を越えて

韓国に侵入。朝鮮戦争が始まった。一九五一年七月には休戦会談開始。五三年七月には休戦協定が結ばれ、今日に至っている。と云う

事は、米国と北朝鮮は戦争状態。今は休戦しているに過ぎない。いつでも再戦できるぞと、米韓合同軍事演習をしているのだ。

朝鮮戦争当時と今

朝鮮戦争当時、日本は米軍の占領下にあった。米軍は日本を兵站基地、航空作戦基地として使用。当時の北朝鮮軍には日本の米軍基地を攻撃する能力は無かった。それで、日本は戦闘に基本的には巻き込まれずに済んだ。

しかし、今、北はミサイルを持つ。何時でも、ミサイルで反撃出来る。

北朝鮮が武力で日本を占領支配出来るとは思えない。米軍基地があるから、攻撃されるのだ。

平和条約交渉こそ

軍事力で「破壊は出来ても国を支配することは出来ない」イラクやアフガンを見れば明らかだ。

今、必要なことは「休戦」を恒久的な終戦に変えること。

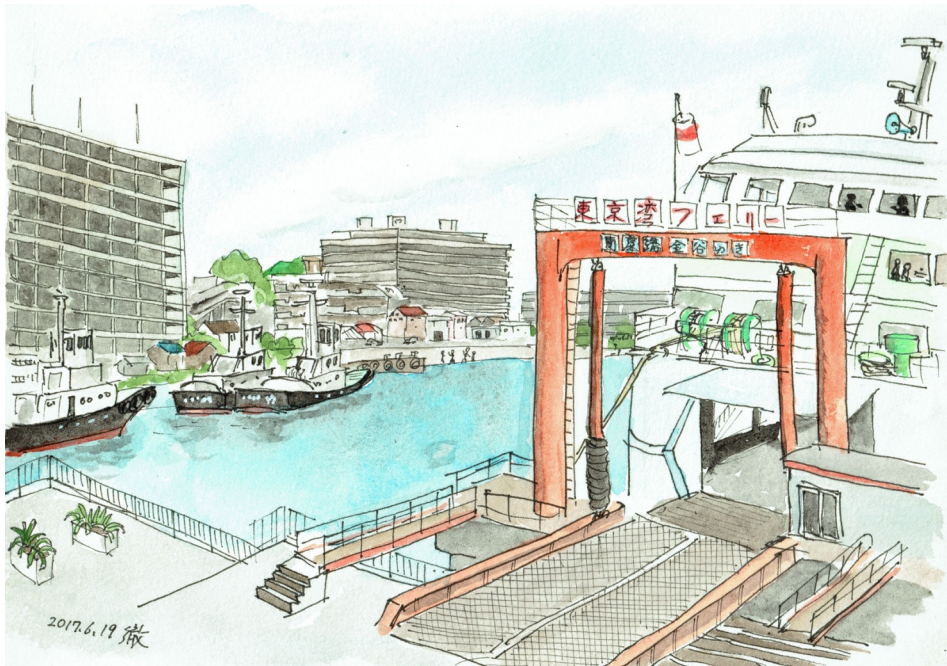
核兵器禁止条約には一二二もの国が賛同。世界の多数の国は軍事力に頼ること無く平和に生きる道を進んでいる。

日本もその道を進んだらどうだろうか？ 皆さんはどう思われますか？

東京湾フェリー

横須賀市久里浜

二〇一七年六月



横浜に住んでいると千葉は遠い。春、真っ先に花が咲く房総半島。

横浜からJRで行くには三時間以上かかる。

ところが、三浦半島の先端に行くと、房総半島は目の前。実際、観音崎から富津岬まで僅か七キロ。浦賀からフェリーで金谷まで四十分だ。

海岸からは房総半島のなだらかな山々が見える。

浦賀水道を大型のコンテナ船、LNG船がひっきりなしに通る。
やまとしたけるのみこと
日本武尊はこの近く走水から房総半島に渡った。

小田原の北条氏と房総の里見氏はこの海峡の覇権を争った。

三浦半島先端まで行き、こうした先人達に思いを馳せ、フェリーで浦賀水道を渡ってはどうか？

